



2015年10月6日
東日本旅客鉄道株式会社

現 美 新 幹 線 「GENBI SHINKANSEN」

～旅するアートカフェ新幹線のアーティスト、デザインが決まりました～

- JR東日本では、「新しい東日本エリアを発見・体験」いただけることにこだわった新しい列車をプロデュースし、お客さまに「日常から解放される」旅行をご提供することで、地域の活性化及び観光流動の拡大に取り組んでいます。その一環として新しい列車「GENBI SHINKANSEN」を2016年春頃に上越新幹線（越後湯沢～新潟間）で運転予定です。
- 「GENBI SHINKANSEN」には、アート、カフェ、景色など様々な魅力がありますが、このたびメインコンテンツである「アート」について、各車両をプロデュースするアーティストとエクステリアデザインが決まりましたので、お知らせします。
- 新潟の旅に新たな魅力をお届けする、世界最速の芸術鑑賞「GENBI SHINKANSEN」に、どうぞご期待ください。

1. エクステリアのデザインイメージについて

エクステリアデザインは、新幹線の車体全体に夏の夜空を彩る長岡の花火を描き出します。



※パース内の写真作品©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

イメージ：現在検討中のイメージイラストであり、実際のものとは異なります。

○エクステリアデザイン（写真） 写真家・映画監督

にながわ みか
蜷川 実花 （敬称略）

2. インテリアを担当するアーティストやスペシャリストについて

※詳細は別紙をご覧ください

本列車のインテリアは、車両ごとに注目のアーティストがこの場所のために制作した現代アートで形作られます。列車空間を創りあげる多様な現代アートにご期待ください。

- | | | |
|-------|----------------------|---------|
| ○11号車 | まつもと なお
松本 尚 | (絵画) |
| ○12号車 | こむた ゆうすけ
小牟田 悠介 | (平面) |
| ○13号車 | こぶけ けんたろう
古武家 賢太郎 | (絵画) |
| ○13号車 | パラモデル
paramodel | (絵画・彫刻) |
| ○14号車 | いしかわ なおき
石川 直樹 | (写真) |
| ○15号車 | こうじん はるか
荒神 明香 | (立体) |
| ○16号車 | ブライアン・アルフレッド (映像) | (敬称略) |

このほか、本列車のシンボルマークや、魚沼産コシヒカリの米粉や佐渡バターを使用したスイーツ、燕市のこだわりのコーヒー（13号車に設置するカフェで提供予定）などについても、各ジャンルのスペシャリストにご意見やご協力をいただきながら、お客さまに「新しい東日本エリアを発見・体験」いただける新しい列車としてプロデュースします。

- | | | |
|----------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| ○シンボルマークデザイン | ダイアグラム | すずき なおゆき
鈴木 直之 |
| ○スイーツ監修 | 菓子研究家 | いがらし ろみ |
| ○スイーツ製造 | 株式会社日本レストランエンタプライズ | 十日町すこやかファクトリー |
| ○コーヒー監修 | ツバメコーヒー | たなか たつゆき
田中 辰幸 |
| ○アートキュレーション | SCAI THE BATHHOUSE および TRUE Inc. | |
| ○車両インテリアプランニング | 株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所 | |
| ○総合プロデュース | TRANSIT GENERAL OFFICE INC. | なかむら さだひろ おかだ ひかる
中村 貞裕 & 岡田 光 |
- (敬称略)

シンボルマーク



「現美」の漢字をモチーフとし、新幹線が水平に移動する速さを表現しました。



イメージ：現在検討中のイメージイラストであり、実際のものとは異なります。

3. GENBI SHINKANSEN専用ホームページのオープンについて

今回のリリースに合わせて、「GENBI SHINKANSEN」の世界観を感じていただける専用ホームページをオープンいたします。2016年春頃の運転開始に向け、今後様々な情報を掲載して参りますので、ご期待ください。

○URL : <http://www.jreast.co.jp/genbi/>

○開設時期 : 2015年10月6日

(参考)「GENBI SHINKANSEN」の仕様と運行について

- 対象車両 E3系（新幹線用車両）の改造
- 座席 6両編成 / 105名（予定）
- 運行線区 新潟エリア（越後湯沢～新潟間）を中心とした上越新幹線区間
- 運転日 臨時列車として、土休日を中心に年間120日程度の運転を予定しています

松本 尚

1975年兵庫県生まれ、京都市立芸術大学美術研究科ビジュアルデザイン科修士課程修了。シルク布地や絨毯、壁紙を用いたインスタレーションを展開。古今東西の神話や伝承から、現代文学作品まで広範なエクリチュールを引用し、フィクション世界を通じて多様な心理状況を投影する。主な展覧会に、「SENJIRU-infusion」Galerie Kashya Hildebrand (チューリッヒ)、2010年「MOT アニュアル 2010: 装飾」(東京都現代美術館、東京)、「HANA 現実と虚構が溶け合った視覚の冒険」(小山市立車屋美術館、栃木)、2013年「川越え: キラキラヒカル」(長谷川祐子キュレーション、川越市蔵造り資料館、埼玉)、「かなたのうた」(アートスペース虹、京都)、2015年「Wonder Beast この惑星のこども」(SCAI THE BATHHOUSE、東京) (うつのみや妖精ミュージアム、栃木)。2015年にはファッションブランドNEMIKA(広尾店、玉川店)とのコラボレーション企画など活動は多岐にわたる。
<http://naomatumoto.turukusa.com/>



展覧 「Wonder Beast この惑星のこども」
 2015
 うつのみや妖精ミュージアム、栃木
 撮影: 本郷伸也
 ©松本尚 Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE

小牟田 悠介

1983年大阪府生まれ、2009年東京藝術大学大学院 美術研究科修士課程先端芸術表現専攻修了。折り紙の展開図をモチーフに鮮やかな色のプリズムを織りなす抽象絵画や、鏡面ステンレスを用いた動く立体作品など、内と外、構築と解体といった状態の反転を、光と色彩の効果を通じて探求する。主な展覧会に、個展「COLOR UNFOLDS」(SCAI THE BATHHOUSE、東京)。またグループ展では、2011年「NEW DIRECTIONS: TRANS-PLEX」(關渡美術館 国立台北藝術大学、台北)、「伝統・現代・発生ドローイング展」(東京藝術大学美術館、東京)、2012年「クラウド [cloud/crowd]」(多摩美術大学芸術学科展覧会設計長谷川祐子ゼミ企画展、ギャラリー LE DECO、東京)など。2014年には、犬島「家プロジェクト」(1邸、岡山)にて新作を発表。



Plane mirror
 2014
 犬島 家プロジェクト 1邸 展示風景
 撮影: 菅 恒佳
 ©小牟田悠介 Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE

古武家 賢太郎

広島県生まれ、1998年桑沢デザイン研究所卒業。2009年 ロンドン芸術大学 チェルシーカレッジ ファインアート(MA)修士課程修了、現在ロンドンを拠点に活動を行う。色鉛筆を用いて描かれた人物像や都市の風景、自然の風景は物語の中の想像の世界を描いているようでありながら、リアルな社会の状況を描いているようにも見える。独特の鮮やかな色彩感の中、夢見るような透明な瞳を持って描かれる人物たちは、鑑賞者に心地よい親近感を与えてくれる。2014・2015年グループ展「未来を担う美術家たち17th DOMANI・明日展」新国立美術館(東京)にて展示。主な個展に2012年「Letters」なかつ美術館(広島県尾道市)、2011年「MOKUME」大和日英基金(ロンドン)など。
<http://www.kobuke.com>



The 15th Night, 2014
 500cm x 1100cm
 Color pencil on wood
 ©古武家賢太郎 Courtesy of TRUE INC.

paramodel

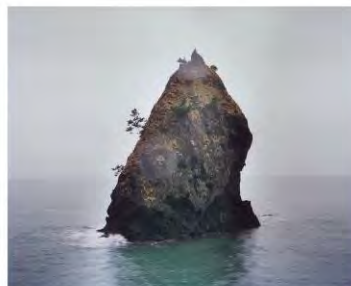
林泰彦(デザイナーを経て、2001年 京都市立芸術大学構想設計専攻卒業)と中野裕介(2002年 同大学日本画専攻修了)が2001年に結成したアートユニット。2003年にユニット名を「パラモデル」に。共に東大阪出身。得意領域や趣向の異なるパラレル [parallel] な2人が、「パラモデル [paramodel]: 世界や心の色々な部品から組み立てる、詩的な模型/設計図」というコンセプトを核に共存、互いの視差 [parallax] と関係性を生かし、2人による「模型遊び」という要素をベースに、多様な形式で作品を制作。ミシガン州立大学美術館、メゾンエルメス8階フォーラムなどでの個展、東京都現代美術館、国立国際美術館、横須賀美術館、アジアパシフィックトリエンナーレ7、パースインターナショナルアートフェスティバル2014など、国内外での展覧会も多数。



paramodel
 (For Art)
 Tokyo Station Gallery (Tokyo)
 paramodel / photo: paramodel

石川 直樹

1977年東京生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。2000年 Pole to Poleプロジェクトに参加して北極から南極を人力踏破。2001年 七大陸最高峰登頂を達成。人類学、民俗学などの領域に関心をもち、行為の経験としての移動、旅などをテーマに作品を発表し続けている。2008年、写真集「NEW DIMENSION」(赤々舎)、「POLAR」(リトルモア)により、日本写真協会新人賞・講談社出版文化賞を受賞。2011年「CORONA」(青土社)により土門拳賞受賞。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した「最後の冒険家」(集英社)ほか多数。2015年7月、新潟を撮影した写真集「湯と里山」(青土社)を刊行。「水と土の芸術祭2015」(7/18~10/12)に参加し、同名「湯と里山」の写真作品と映像を発表。<http://www.straighttree.com>



©石川直樹 Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE

荒神 明香

1983年広島県生まれ、2009年東京藝術大学大学院 美術研究科先端芸術表現専攻修了。幼少期の体験、日々の発見や思いつきなどから、鑑賞者の意識を変容させる立体的な仕掛けを生み出し、空間全体を異化するインスタレーション作品を発表。近年では、wah documentらとともにグループ目【め】として活動する。主な展覧会に、2007年「Space for your future」(東京都現代美術館、東京)、2008年「眼差しと好奇心 VOL.2」(Soka Art Center、台北)、「ライフがフォームになるとき」(サンパウロ近代美術館、サンパウロ)、2011年「Bye Bye Kitty」(ジャパン・ソサエティ・ギャラリー、ニューヨーク)。2013年には、犬島「家プロジェクト」(岡山)にてA邸に作品「リフレクトゥ」、S邸に「コンタクトレンズ」を設置する。目【め】としての活動にも、2013年「迷路のまち〜変幻自在の路地空間〜」(瀬戸内国際芸術祭プロジェクト、香川)、2014年「たよらない現実、この世界の在りか」(真生堂ギャラリー、東京)ほか多数。



reReflecto
2006/2005
「ライフがフォームになるとき」東京会場
サンパウロ近代美術館 (ブラジル)
©荒神明香 Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE

ブライアン アルフレッド

1974年アメリカ、ピッツバーグ市生まれ、エール大学修士修了。現在ニューヨークに在住。ネットワーク社会や日常に潜む社会問題、国際紛争やポップカルチャーなど、現代の実像をポエティカルな視点から表現するアートが広く共感を集めている。映像、ペインティング、コラージュや音楽など、メディアにこだわらず縦横無尽に自身の世界観を展開する手法がアメリカのみならず国際的に評価されており、作品はニューヨークのグッゲンハイム美術館、ホイットニー美術館ほか、デンバー美術館、サンフランシスコ近代美術館等に収蔵されている。日本では2011年に文化庁メディア芸術祭にてアート部門優秀賞を受賞。2010年の愛知トリエンナーレでも映像作品を発表した。「frag & bone」など、ファッションブランドとのコラボレーションも多数。<http://paintchanger.com>



ブライアン・アルフレッド Courtesy of TRUE INC.

蜷川 実花

木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。映像作品も多く手がける。2007年、初監督映画「さくらん」公開。2008年に個展「蜷川実花展」が全国の美術館を巡回し、のべ18万人を動員。2010年、Rizzoli N.Y.から写真集「MIKA NINAGAWA」を出版、世界各国で話題となる。2012年、監督映画「ヘルタースケルター」公開、22億円の興行収入を記録。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事就任。
<http://ninamika.com>



©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

現 美 新 幹 線
「GENBI SHINKANSEN」の編成図



まつもと なお
松本 尚 (絵画)
11号車

こむた ゆうすけ
小牟田 悠介 (平面)
12号車



パラモデル
paramodel (絵画・彫刻)
こぶけ
古武家 賢太郎 (絵画)
13号車

いしかわ なおき
石川 直樹 (写真)
14号車



こうしん はるか
荒神 明香 (立体)
15号車

ブライアン・アルフレッド (映像)
16号車